

平成 2 8 年 度

総合福祉センター
管理運営拠点区分
計算書類

社会福祉法人
調布市社会福祉協議会

総合福祉センター管理運営拠点区分資金収支計算書

(自) 平成28年 4月 1日 (至) 平成29年 3月31日 第一号第四様式 (第七条関係)

(単位:円)

勘定科目		予算	決算	差異	
事業活動による収支	収	受託金収入	30,724,000	30,709,613	-14,387
	入	市区町村受託金収入	30,724,000	30,709,613	-14,387
		調布市受託金収入	30,724,000	30,709,613	-14,387
		事業活動収入計(1)	30,724,000	30,709,613	-14,387
	支	人件費支出	3,567,000	3,556,525	10,475
		非常勤職員給与支出	3,061,000	3,061,000	0
		法定福利費支出	506,000	495,525	10,475
		事務費支出	27,157,000	27,153,088	3,912
		事務消耗品費支出	5,941,000	5,940,698	302
		印刷製本費支出	54,000	53,676	324
		水道光熱費支出	12,155,000	12,154,593	407
		燃料費支出	5,000	4,640	360
		修繕費支出	4,351,000	4,350,337	663
		通信運搬費支出	1,583,000	1,582,838	162
		業務委託費支出	148,000	147,792	208
		手数料支出	222,000	222,000	0
		保険料支出	42,000	42,000	0
		賃借料支出	395,000	394,602	398
		土地・建物賃借料支出	1,872,000	1,872,000	0
		保守料支出	337,000	336,336	664
	雑支出	52,000	51,576	424	
	事業活動支出計(2)	30,724,000	30,709,613	14,387	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0	
施設整備等による収支	収	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支	施設整備等支出計(5)	0	0	0
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動による収支	収	その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支	その他の活動支出計(8)	0	0	0
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0
	予備費支出(10)	0	—	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
	前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

総合福祉センター管理運営拠点区分事業活動計算書

(自) 平成28年 4月 1日 (至) 平成29年 3月31日 第二号第四様式 (第七条関係)

(単位:円)

		勘定科目	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動増減の部	収益	受託金収益	30,709,613	29,143,404	1,566,209
		市区町村受託金収益	30,709,613	29,143,404	1,566,209
		調布市受託金収益	30,709,613	29,143,404	1,566,209
		サービス活動収益計(1)	30,709,613	29,143,404	1,566,209
	費用	人件費	3,478,825	3,585,735	-106,910
		賞与引当金繰入	0	77,700	-77,700
		非常勤職員給与	2,983,300	3,018,630	-35,330
		法定福利費	495,525	489,405	6,120
		事業費	0	615,600	-615,600
		消耗器具備品費	0	615,600	-615,600
		事務費	27,153,088	25,019,769	2,133,319
		事務消耗品費	5,940,698	2,119,924	3,820,774
		印刷製本費	53,676	53,676	0
		水道光熱費	12,154,593	16,935,152	-4,780,559
		燃料費	4,640	2,040	2,600
		修繕費	4,350,337	1,142,511	3,207,826
		通信運搬費	1,582,838	1,710,539	-127,701
		業務委託費	147,792	296,268	-148,476
		手数料	222,000	58,968	163,032
		保険料	42,000	42,000	0
賃借料	394,602	390,968	3,634		
土地・建物賃借料	1,872,000	1,872,000	0		
保守料	336,336	344,147	-7,811		
雑費	51,576	51,576	0		
		サービス活動費用計(2)	30,631,913	29,221,104	1,410,809
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	77,700	-77,700	155,400
サービス活動外増減の部	収益				
		サービス活動外収益計(4)	0	0	0
	費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	77,700	-77,700	155,400
特別増減の部	収益	特別収益計(8)	0	0	0
	費用	特別費用計(9)	0	0	0
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	0
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	77,700	-77,700	155,400
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	-77,700	0	-77,700
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	0	-77,700	77,700
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		基金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(16)	0	0	0
		その他の積立金積立額(17)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	0	-77,700	77,700

総合福祉センター管理運営拠点区分貸借対照表

平成29年 3月31日現在

第三号第四様式 (第七条関係)
 (単位: 円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	8,760,409	4,363,198	4,397,211	8,760,409	4,440,898	4,319,511
現金預金	8,712,705	4,352,411	4,360,294	8,756,109	3,051,462	5,704,647
事業未収金	0	7,111	-7,111	0	1,307,596	-1,307,596
立替金	47,704	3,676	44,028	4,300	4,140	160
				0	77,700	-77,700
				8,760,409	4,440,898	4,319,511
				純 資 産 の 部		
				0	-77,700	77,700
				0	-77,700	77,700
				77,700	-77,700	155,400
				0	-77,700	77,700
資産の部合計	8,760,409	4,363,198	4,397,211	8,760,409	4,363,198	4,397,211

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債権

当法人は、満期保有目的の債券の取得価額と債券金額との差額の性格が金利の調整と認められるときは、償却原価法により評価する。ただし、その差額の重要性が乏しいと認められる場合には、償却原価法によらないことができる。

②満期保有目的の債権以外の有価証券で市場価格のあるもの

当法人は、会計年度末における時価を貸借対照表価額とする。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

当法人は、棚卸資産の評価方法として、最終仕入原価法に基づく原価法を採用する。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

当法人は、定額法による減価償却を実施する。

②無形固定資産（リース資産を除く）

当法人は、定額法による減価償却を実施する。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引について、当法人は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

(4) 徴収不能引当金の計上基準

当法人は、毎回会計年度末において徴収することが不可能と判断される債権の全額及びその他の債権残高の総額に、過去の徴収不能額の発生割合を乗じた金額を、徴収不能引当金として計上する。ただし、重要性が乏しいと法人が認めた場合には、これを計上しない。

(5) 賞与引当金の計上基準

当法人は、職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を賞与引当金として計上する。ただし、重要性が乏しいと法人が認めた場合には、これを計上しない。

(6) 退職給付引当金の計上基準

当法人は、退職一時金の支払に備えるために、期末在籍者に係る自己都合退職による要支給額及び期末に定年退職となる職員の定年退職による要支給額の合計額を退職給付引当金に計上する。

(7) 消費税の取扱い

当法人は、消費税等の会計処理として、税込方式を採用している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

当法人は、平成18年度以降に採用となった職員の退職金の支給に備えるため、公益財団法人東法連特定退職金共済会が実施する特定退職金共済制度に加入している。

また、平成17年度以前に採用となった職員に対し、職員の退職手当に関する規程に基づき退職一時金を支払うこととしている。

4. 拠点が作成する計算書類等とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類等は以下のとおりになっている。

- (1) 総合福祉センター管理運営拠点区分計算書類(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)
- (2) 拠点区分におけるサービス区分別資金収支明細書(会計基準別紙3(Ⅹ))
総合福祉センター管理運営拠点区分におけるサービス区分は単一であるため作成していない。
- (3) 拠点区分におけるサービス区分別事業活動明細書(会計基準別紙3(Ⅺ))
総合福祉センター管理運営拠点区分におけるサービス区分は単一であるため作成していない。

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

該当なし

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

該当なし

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項
該当なし

平成 2 8 年 度

総合福祉センター
管理運営拠点区分
附属明細書

社会福祉法人
調布市社会福祉協議会

引当金明細書

自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日

社会福祉法人 調布市社会福祉協議会
 総合福祉センター管理運営 拠点区分

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
賞与引当金	77,700	0	77,700	0	0	
計	77,700	0	77,700	0	0	

(単位:円)

(注)1. 引当金明細書には、引当金の種類ごとに、期首残高、当期増加額、当期減少額及び期末残高の明細を記載する。

2. 目的使用以外の要因による減少額については、その内容及び金額を注記する。

3. 都道府県共済会または法人独自の退職給付制度において、職員の転職または拠点間の異動により、退職給付の支払を伴わない退職給付引当金の増加または減少が発生した場合は、当期増加額又は当期減少額(その他)の欄に括弧書きでその金額を内数として記載するものとする。